学校番号	J3026

令和８年度　美術科

学年	1	週授業コマ数	1．3	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	美術１（開隆堂）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業説明は主に、スライド、プリント、教科書を用います。プリントを整理するファイル等を各自、用意してください。 評価は、表現に関しては完成作品に至るまでの知識、技術、プロセス、試行錯誤や積極的な取り組みも評価します。鑑賞においても知識理解を深め、ものの見方を広げ、意欲的に鑑賞することを評価します。

2　学習の到達目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
(2) 自然の造形や美術作品など造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性の美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン	「自分らしさ」というテーマでデザインの技法を使い自画像を制作。モチーフをよく観察し、鉛筆で質感や立体感を表現する。	a：デッサンの方法やその効果を理解し、特徴を生かして表す。 b：モチーフの特徴を捉え、自分なりの見方で表現する。 c：コラージュの技法に関心をもって取り組むことができる。	作品・テスト	授業プリント・作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	自画像の鑑賞	さまざまな画家の自画像作品を鑑賞し、表現方法や意図を考察する。	a：様々な作家の描いた自画像の作品の造形表現について理解する。 b：作品のよさや美しさを感じ取り、作品から作者の意図や工夫を読み取る。 c：鑑賞活動に主体的に取り組む。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
2学期	木彫レリーフ	木材を彫刻刀で彫り、レリーフ表現に挑戦する。「文化」というテーマで、構想を練る。	a：木彫の基本技法を理解し、道具を適切に使える。 b：使用する目的や機能を考え、テーマに沿って形や構成を工夫する。 c：工芸品や木の素材に関心をもち、意欲的に制作に取り組むことができる。	作品・テスト	作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	伝統工芸品鑑賞	日本や世界の伝統工芸品（漆器、織物、陶磁器など）を鑑賞し、作品の魅力、時代背景や日本の美術文化の働きについて見方や感じ方を広げる。	a：伝統工芸品の造形表現について理解する。 b：作品のよさや美しさを感じ取り、工芸品に込められた文化や技術を考察する。 c：伝統文化に関心をもって鑑賞する。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
3学期	マチエールによる感動の表現	絵の具の盛り上げ、削り、こすり、重ね塗りなどのマチエール表現を使い、自分にとって印象深い「感動」を視覚的に表現する。	a：マチエールの多様な表現方法と、その視覚的・触覚的効果を理解する。 b：「感動」に対する思いや印象と、マチエールとの関連性を考えて表現する。 c：素材や技法を試しながら、主体的に制作に取り組む。	作品・テスト	作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	フィンセント・ファン・ゴッホ作品の鑑賞	ゴッホの作品を通して、絵の具の使い方や筆致によるマチエールが、どのように感情や印象を表現しているかを考察する。	a：マチエールを活かした表現の特徴や効果について理解する。 b：筆触や絵の具の扱いから、作品に込められた感情や意味を多面的に考察する。 c：作品鑑賞を通してマチエール表現に関心をもち、意欲的に見方を深める。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度